

笑顔あふれるまち 飯南町

IINAN

い-なん
2022
9
No.213



YOHAKU ARIMASU
IINANCHO
飯南町

特集 志津見ダムとコスモス祭



い-なんブランドメッセージフェスティバル



志津見ダム完成を祝う会(平成23年)

新たな一步を踏み出そうとする住民の皆さんの思いが込められています。
ダム完成後、「志津見ダム水源地域ビジョン」が作成され、「志津見湖フォトコンテスト」、「ダム見学会」などのダム湖を活用したイベントの開催など、国土交通省、島根県、飯南町、地元団体が協働し、地域づくりを行っています。

志津見ダムとコスモス祭

イベント告知

第30回コスモス祭

●日にち/10月9日(日) ●会場/東三瓶フラワーバレー

[内容]大抽選会やうまいものテント、ダム見学会などさまざまなイベントが行われます

主催/第30回 東三瓶コスモス祭実行委員会

共催/国土交通省・島根県・飯南町

大きな節目を迎えた「志津見ダム」と「コスモス祭」。本町を代表するダムと秋を彩るイベントです。今月号は、「志津見ダム」と「コスモス祭」、そして、この2つに関わってきた住民の思いを取り上げます。



過去の会場の様子

30回目を迎えるコスモス祭

志津見ダムの建設に伴い、志津見地区周辺では、平成3年度から「東三瓶フラワーバレー事業」として、毎年春にはポピー、秋にはコスモスを咲かせることで、景観維持に取り組んできました。これは、地域の生活環境やダム貯水池内の景観保全を目的としています。そして、景観維持だけでなく、花を活用した「ポピー祭」と「コスモス祭」を開催しています。

多くの人にダムを訪れてもらうことで「治水事業の大切さ」「志津見ダムの意義」を次世代に継承する目的を果たすだけでなく、斐伊川・神戸川の下流域に暮らす他市町との交流が進み、地域の活性化に繋がる本町を代表するイベントとなっています。

毎年、10月第2日曜日「東三瓶フラワーバレー」を会場に、数千人が訪れるコスモス祭。近年は、台風やコロナウイルスの影響で、3年連続で開催が中止されましたが、今年、主催する「東三瓶コスモス祭実行委員会」において、4年振りの開催が決定。30回目の節目を迎えます。



行列ができるうまいものテント(平成29年)

志津見地区の思い

志津見地区在住の空岡健さんは、長年フラワーイベントやダム周辺事業に携わり、現在は「志津見ダム周辺活性化総合整備推進委員会会長」「東三瓶フラワーイベント実行委員会委員長」として、コスモス祭の開催に尽力しています。

「志津見地区やダム建設に関わった人にとって、ダムは特別な存在。ダム建設を契機に始まったコスモス祭も大切なイベント」と空岡さん。



毎年人気のヤマメのつかみ取り(平成25年)

志津見地区の皆さんにとって大きなイベントのコスモス祭。「本当は3年前に30回目のはずでした。今回も中止を当然考えたが、地域の活性化や、地区の皆さんに元気を届けるために、何とかして開催したかった」と続けます。
「30年間も続けてこられたのは、ダムの礎石に刻まれた想いを忘れずに、地域活性化や地域間交流の必要性を伝え、地域の皆さんや訪れた人に理解していただいた賜物。このイベントは志津見地区だけでなく、志々地区にとつてなくてはならないものだ、多くの人に知っていただきたい」と話していました。

志津見ダムの歴史

昨年、完成10周年の節目を迎えた志津見ダムは、昭和47年に発生した豪雨災害を契機に立案された「斐伊川・神戸川治水に関する基本計画」に基づき、「島根県百年の大計」として建設が決定。昭和61年4月に建設事業が着手され、平成16年6月に本体工事が開始。7年後の平成23年6月に完成し、下流域の洪水調整などの役割を担っています。

志津見ダムの礎石には、当時の志々小学校児童のダムへの思いや願いを込めた「命の水 命のダム」「願い・豊かなくらし」という言葉が、直筆で刻まれています。ダムの建設に伴い、移転せざるを得なかった97戸の皆さんや、地元に残り



礎石のレプリカ(志津見ダム管理支所内)



町政座談会を開催

8月下旬から、町内5つの会場で町政座談会を開催しました。町民の皆さんからの質問・意見と、町の回答の一部を紹介します。

(Q:質問、A:回答) ※各会場での質問・意見、回答は、町ホームページでご確認ください。

冒頭で町から情報提供(7つ)

- ①こども広場の整備
- ②飯南米のPR状況
- ③公共宿泊施設の今後のあり方
- ④ブランドメッセージプロジェクト
- ⑤住宅支援制度
- ⑥高齢者福祉の現状・課題
- ⑦飯南病院の医師・医療体制



で案。今年度のところの方針を探っていく。

Q…志津見ダム水没樹移植記念公園(神戸の森の整備が行き届かず、利用者もいない。環境整備を含め対策をとってほしい。
A…地域全体の活性化を目的に志々を元気にする会がアクションプランを作成している。「志々を元気にする会」を含めて、誰がどのように活用していくかを検討したい。

新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)対策

Q…コロナが収束する心配がない。個人としては、ワクチンを打つのが精いっぱい。一人一人の対策には限界がある。地域も疲弊している。町独自の対策を考えてほしい。
A…感染対策は、国の方針に従っている。ワクチン接種も推奨し、町独自の行動制限もお願いした。基本的な感染対策も「換気」を中心に注意を促している。地域行事は、感染対策を徹底しながらの開催を検討してほしい。町の行事は開催して

教育

Q…小学校・中学校を統合する予定はあるか。
A…今年度立ち上げた教育環境基本方針検討委員会で、検討を重ねていきたい。
Q…飯南高校の魅力化に欠かせないのが、部活動の活躍だが、部活動の経費は多額を要すると思う。部活動への支援として、ふるさと納税を活用してはどうか。
A…すでに部活動助成や寄宿舎助成の財源として、ふるさと納税(寄付者が希望する使い道・飯南高校の特色ある教育の支援)を活用させてもらっている。今後も有効に活用していきたい。

Q…GIGAスクールで一人一台端末の利用が開始されたが、インターネットが繋がりにくく、支障が出ている。解消できないか。
A…町全体で光ケーブルの増設を実施し、以前より通信環境はよくなっている。雲南夢ネットもプランを増やしているので、プラン変更を検討してみてもどうか。変化がなければ、ルーターのチェックも行えるので、相談していただきたい。

子育て

Q…こども広場の整備は、住民のニーズを把握してからだと思うが、屋外に遊具を設置するのであれば、老朽化も考慮しているのか。
A…一般的に、ワクチンによっては効果が長続きするものもあれば、しないものもある。コロナワクチンは5カ月程度。現在、治療薬もない中で、重症化を防ぐために、接種を推奨している。

いく方針。

Q…4回目のワクチンを接種したが後遺症も出ていない。打てば打つほど免疫力がつかぬのか。
A…一般的な、ワクチンについては効果が長続きするものもあれば、しないものもある。コロナワクチンは5カ月程度。現在、治療薬もない中で、重症化を防ぐために、接種を推奨している。

福祉・医療

Q…飯南町には高齢者福祉施設が多いから安心してはいるが、高齢者が増え、介護職員になる若者が減る中で、今後施設に入れるのか心配になってきた。具体的な方向性を出してほしい。
A…福祉現場はコロナに対する危機感を持ちながら、利用者にも充実したケアが提供できるように日々取り組んでいるが、介護職員の不足により一部サービスを縮小しなくてはならない状況も起こっている。現在、社会福祉法人と一緒に、今後の福祉サービスもあり方を話し合っている。若い人にも夢や希望が持てるようなまちになるよう取り組んでいきたい。

Q…赤名地区にも診療所を設置してほしい。赤名地区から飯南病院への移動は、高齢者にとっては相当な負担。
A…飯南病院の維持が最重要。医師の確保も大変な状況のため、今の体制を維持することに対応したい。路線バスやタクシー

A…老朽化も考慮している。来島交流センターのこども広場は、屋外に遊具(1〜3歳向け)を整備するが、専門業者による定期点検も行いながら管理していく。

Q…子ども向けの公園整備が進んでいるが、大人も楽しめるような公園づくりもお願いしたい。
A…来島交流センターのこども広場は小さなお子さん向けに整備。令和5年度以降、整備予定の3地区(赤名・頓原・志々)は、大人も含めて楽しめるような、夢のある広場にしていきたい。

防災

Q…町の災害公営住宅の確保だが、被災者の災害公営住宅があればいいのではないか。「空き家バンク」の何件かを災害公営住宅として確保するのはいかがでしょうか。
A…町として災害公営住宅は確保していない。昨年の災害時には、長期避難が必要な人向けに、町営住宅の空き部屋を確保。空き家の災害公営住宅化は、所有者の了解や管理料の問題も含めて、今後検討していきたい。

災害復旧

Q…昨年の豪雨災害の復旧率はどの程度か。令和4年度内に復旧が完了するのか。
A…農地・農業用施設災害の復旧率は、62パーセント(全74件、工事発注済)。農地の一部が1番だと思ふ。

Q…助成等での対応をお願いしたい。赤名地区で開業したい医師がいれば、町としても支援していきたい。
A…県内店舗では町長のトップセールスもあり、「飯南町産コシヒカリ」と明記されるようになった例がある。広島方面の店舗でも、飯南町産米が多く使用されているが、一部産地の異なるブレンド米で「飯南米」の表記になっていない。今後、単独米で扱ってもらえるよう働きかけていきたい。

農業

Q…飯南米PRを、もう少し大々的にやってみては。県内の店舗の販売を見たが、ブレンド米ではなく、単独で消費してもらおうのが一番だと思ふ。
A…県内店舗では町長のトップセールスもあり、「飯南町産コシヒカリ」と明記されるようになった例がある。広島方面の店舗でも、飯南町産米が多く使用されているが、一部産地の異なるブレンド米で「飯南米」の表記になっていない。今後、単独米で扱ってもらえるよう働きかけていきたい。

Q…肥料・農薬の高騰が起きている。赤字になる農家が増えると思うが、町としての対策は。
A…先般、国から肥料高騰に対する支援策(高騰部分の7割を支援)が示された。県も支援金を交付する可能性があると思われる。町としては、まず国の支援策が受けられるように、J Aと一緒に農家の皆さんを支援していきたい。町の独自策は、国県の動向や農家の皆さんの意見を聞きながら検討していきたい。

Q…町として有機農業に取り組みたい。どうするか。
A…昨年、農林水産省が「みどりの食料システム戦略(2050年までに有機農業の

災害を優先して復旧に取り組んでいる(今年度と来年度で復旧を目指す)。公共災害(河川・道路)は、33パーセント(99件中84件、工事発注済。残り15件は、9月中旬に発注予定)。林地崩壊防止事業は、50パーセント(全6件、工事発注済)。林道災害は、12.5パーセント(16件中、5件発注済)。発注済も含めて3カ年で復旧を行う。

公共施設(道路・宿泊施設)

Q…近年は、不在私有地も増え、草も木も切る人がいない。今後、道路沿いの木の伐採には、大変な管理費がいるのでは。飯石広域農道も法面の木が茂っている。
A…民地の伐採は、「木が小さいうちの伐採」を所有者にお願いしてきたが、最近ではできていない。再度、周知を図ってきたい。近年は不在地主も多くなってきた。近隣市町の状況も参考に検討したい。広域農道の伐採は、県と協議しながら対処していきたい。

Q…町内の公共宿泊施設は、個人的に多いと思っていた。施設の集約化や廃止、有効活用を進めてほしい。
A…町民の皆さんや観光客のニーズに沿った施設になるよう進めていく。

Q…公共宿泊施設の有効活用例として、レンタルオフィスが気になった。進捗状況はどうか。今後の計画とスケジューリングを教えてください。
A…レンタルオフィスとしての活用はあくま

取組面積を25%(100万ヘクタールへ拡大などを実現)を示した。近年、環境問題、食の安全安心への関心も高まってきており、町としても、有機農業の取組は避けて通れない。しかし、有機農業は、手間や収量減などまだまだ課題もある。国は今後、新たな技術開発に取り組みとされており、町としては、新たな技術が示され、農家の皆さんが安心して有機農業に取り組める状況になれば助めていきたい。

定住

Q…定住施策のうち、うまくいった施策、うまくいかなかった施策を教えてください。
A…「セミオーダー式の定住住宅」は非常に人気があり、町の定住施策の目玉になっている。さらに、今年度は住宅支援制度を設け、「飯南町に住みたい」と思っている人に対し、多様な選択肢を用意している。結果として「田舎くらしの本」では、「子育てしやすい町」として評価されている。問題は、移住してきた人が飯南町を離れてしまうこと。町内では職種が限られているため、「働く場所がない」という理由で転出されることもある。働く場所の確保に力を入れていきたい。

Q…「空き家バンク」に登録された住宅に入居が決まった際、入居者のことを地域住民に知らせしてほしい。地区住民も入居者も戸惑わないようにフォローしたい。
A…地域の皆さんの思いやニーズに臨機応変に対応し、入居者ともコミュニケーションを取りながら進めていきたい。



誓いの言葉を述べる高橋鈴奈さん

「飯南町二十歳のつどい」を来島交流センターで開催しました。民法改正による成人年齢の引き下げに伴い、これまで開催してきた「成人式」を、今年度から「二十歳のつどい」と改称しましたが、対象者は令和3年度に20歳を迎えた人です。式典には38人が出席。来賓による祝辞、記念品受領の後、代表者が誓いの言葉を述べました。式典後の交流会では、中学校時代の恩師からのメッセージや、学生時代の思い出話披露、飯南町に関する〇×クイズが行われました。

8.15
月

ふるさとを想って
二十歳のつどい



久しぶりの再会に笑顔が溢れます

交流会終了後の会場では、友人や恩師との再会を喜び合う姿が見られました。出雲市内で保育士として勤務する奥野志穂さんは「コロナ禍で、開催していただき、感謝しています。出席したことで、成人としての自覚を持つ機会となりました。育ててくれた母や、支えてくださる人たちに感謝して、社会人として頑張っていきたいです」と話していました。

8.7
日

夏休みの思い出をつくらう
サマーフェスティバル



モルックは木の棒を投げ、数字の書かれた木のピンを倒すフィンランド発祥のスポーツ

交流センターとんぼら前のとんぼパークで「サマーフェスティバル」が開催されました。この企画は、若者を中心に「頓原地域を元気に」を目的に活動する「とんぼら探険隊フェブ実行委員会」が主催。当日は、金魚すくい、射的といった夏祭りらしいものだけでなく、モルックやイモリ釣りなど珍しい遊びも出店されました。その他にもコンサートやミニ抽選会も行われ、集まった参加者は盛りだくさんの企画を思い思いに楽しんでいました。



多くの出店があり、賑やかなイベントになりました



「ダルマーズ」によるコンサートをBGMに(14ページに関連記事)

8.21
日

盛夏のサイクリング
やまなみ街道クライムライド

道の駅赤来高原を発着点に、やまなみ街道を駆け巡る自転車イベント「やまなみ街道クライムライド2022」が3年振りに開催されました。遠くは関東や九州地方など、県内外から約150人が参加。71キロメートル、140キロメートルのコースに分かれ、思い思いにコースを走り抜けていました。大会を運営したNPOサイクリストビュウの森脇理事長は「開催できて良かった。自転車飯南町を盛り上げていきたい」と話していました。



完走を目指して元気にスタート

9.3
土

「防災の日」にちなんで
親子で防災キャンプ

防災の日(9月1日)にあわせ、「親子で防災キャンプ」が赤名公民館で開催されました。参加者は、避難所で使用する可能性のあるダンボールベッドを組立てる体験や、中山間地域研究センターの東研究員による防災クイズを楽しみました。その後、赤名連坦地周辺に、危険箇所がないかを歩いて確認しました。参加者は「雨が降っていたこともあって、滑りやすいなどの危険箇所がありました」と話していました。



当日は、赤名小学校の児童など5人が参加

8.11
木

自ら収穫して味わう
トウモロコシの収穫を体験

上來島地区のトウモロコシ畑で、収穫体験が開催されました。町内外から訪れた多くの参加者は、畑に伸びる背の丈ほどもある、トウモロコシの収穫を楽しみました。雲南市から訪れた参加者は「コロナ禍でなかなか出かけられない中で、田舎ならではの夏らしい体験ができ、子どもも喜んでくれた」と話していました。このイベントは、小田真木地区の皆さんで構成される「小田真木の未来」みんなでやるう会が主催。



力をこめて大きなトウモロコシをもぎとります

8.14
日

みんなで体を動かそう
とんぼら一斉ラジオ体操

交流センターとんぼら前で、夏休み恒例の「とんぼら一斉ラジオ体操」が開催されました。朝6時半、頓原地区の住民を中心に約40人が集まり、輪を作って、ラジオ体操第一、第二で体を動かしました。主催者した頓原公民館の石川館長は「あいにくの空模様で、参加者が集まる心配しましたが、多くの参加があり、開催してよかった。ラジオ体操で元気に一日をスタートしてほしい」と話していました。



い〜やんも参加して一緒に身体を動かしました



2030年の国民スポーツ大会に向け一致団結

飯南町ソフトボール協会発足

8月25日(木)に、「飯南町ソフトボール協会発足式」を開催しました。
2030年に鳥根県で開催される国民スポーツ大会で、本町は、出雲市、雲南市とともに「ソフトボール競技」の会場地となっています。本町には、これまで鳥根県ソフトボール協会に所属する団体はありませんでしたが、組織体制が整ったことから、「飯南町ソフトボール協会」を発足。協会の発足を足がかりに、ソフトボール競技の強化を図ります。

■問合せ 教育委員会
☎76・3944

鳥根県知事へ要望

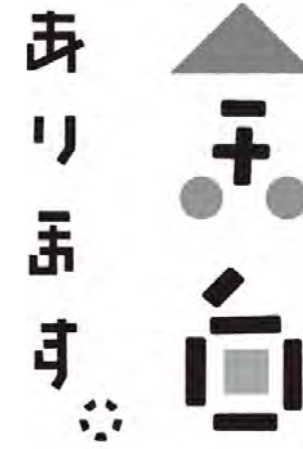
8月31日(水)に、丸山知事に対して要望活動を行いました。重点要望項目は次のとおりです。

- ①医療従事者等の確保
住民が安心して暮らせる飯南病院の医療体制を維持するため、の継続した医師派遣や、看護師、薬剤師など医療従事者の確保
- ②企業誘致への支援
専門系事務職場の誘致のため、企業とのマッチングや誘致に必要な施設や整備への支援
- ③令和3年豪雨災害復旧事業の促進
県が管理する道路・河川の被災箇所の早期復旧に向けた事業促進や、神戸川(赤名川)河川改修事業の早期完了

■問合せ まちづくり推進課
☎76・2864



町の政策や課題を説明し、要望書を提出



YOHAKU ARIMASU IINANCHO

飯南町

ブランドメッセージ決定

6月20日から7月31日まで実施した「ブランドメッセージ総選挙」。開票の結果、町の魅力や目指す姿を表した「ブランドメッセージ」は「余白あります。」に決定しました。

余白あります。

豊かな山々や、透き通る川、広々とした空に囲まれた風景には、ワクワクして飛び込みたくなる世界が。
のんびり、ゆっくり時間が流れる暮らしには、ホッとする心のゆとりが。
いろんな人が協力し合って生み出す、新しい挑戦には、ドキドキする可能性が。
飯南町、あいてます。

「余白」という言葉に込められたメッセージ

ロゴマークに使用している図形は、自分の関心事に合わせて組み合わせ、自由に使うことができます。ぜひ活用ください。

「心の余裕」「何にでもなれる可能性」などの意味が込められ、未来を自分たちの手で作っていくというメッセージになっています。

お披露目イベントと今後の活用

9月11日(日)には、「いいな」ブランドメッセージフェスティバルを開催。決定したブランドメッセージとロゴマークを発表しました。イベント会場の三日市(来島連垣地)には、趣味や特技を活かした、町民の皆さんのテント市がずらり。「暮らしの余

白」を楽しむ様子が伝わるイベントとなりました。

翌12日(月)には、町内事業者や地域運営組織の皆さんに参加していただき、ブランドメッセージの展開と使い方を考える研修会を開催。今後、商品やイベントなどに活用していきたいよう、ワークショップや意見交換を行いました。

■問合せ まちづくり推進課 ☎76-2864

人事行政の運営等の状況を公表

地方公務員法、飯南町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、令和3年度の人事行政の

運営などの状況をお知らせします。なお、給与・職員数などの状況は、広報3月号で公表しています。

職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

1週間の正規の勤務時間	38時間45分
1日の正規の勤務時間	7時間45分
開始時刻	8:30
終了時刻	17:15
休憩時間	12:00~13:00

職員の任免に関する状況

	令和3年度採用	令和3年度退職
一般行政職	2人	2人
医療技術職	0人	1人
看護・保健職	0人	1人
福祉職	0人	0人
技能労務職	0人	0人
合計	2人	4人

職員の福祉及び利益の保護の状況 (1)安全衛生管理体制

総括安全衛生管理者	安全衛生管理者	安全衛生推進者	産業医
1人	3人	5人	1人

職員の福祉及び利益の保護の状況 (2)職員の健康診断の状況

	対象者数	受診者数
定期健康診断	88人	87人
人間ドック(病院ドックを除く)	54人	52人

職員のサービスの状況 年次有給休暇の取得状況(令和2年1月1日~令和2年12月31日)

総付与日数	総取得日数	全対象職員数	平均取得日数	消化率
5,253日	1,527日	138人	11.1日	29.1%

職員の研修の状況

区分	受講者数
自治研修所派遣研修	6人
市町村総合事務組合研修	8人

職員の分限及び懲戒処分の状況

分限処分者	懲戒処分者
4人	0人



飯南高校書道同好会のパフォーマンスでブランドメッセージを発表



趣味や特技にあふれる昔の「みの市」を思わせるテント市



ブランドメッセージ作成を監修した東海大学の河井教授と町民の皆さんのトークセッション

healthycolumn
健康コラム

保健 医療 介護 福祉

●飯南病院 ☎72-0221 ●来島診療所 ☎76-2309 ●保健福祉センター ☎72-1770

初めまして。松江市立病院研修医の三好淳です。9月も終わりに近づき秋の気配を感じるようになりましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。暑さも和らいできましたが、熱中症には十分気を付けてください。喉が乾いてなくても水分は十分に摂りましょう。

私からは「香川県の魅力」についてお話しさせていただきます。健康の話を期待して読まれている方は申し訳ありません。

私は香川県の出身で、高校卒業後に縁あって島根大学に入学しました。卒業後は松江市立病院に勤務し、地域実習として8月の1カ月間、飯南病院で研修をさせていただきました。近年は新型コロナウィルスの影響もあり、県外への外出が難しいですが、落ち着けば、ぜひ一度、香川県へ足を運んでいただきたいと思います。この場をお借りして紹介させていただきます。

「香川県といえば」と質問をすると、皆さん口を揃えて「うどん」と答えます。香川県のおいしい食べ

飯南病院 便り

香川県の魅力



松江市立病院研修医 三好 淳也

物はうどんだけではありません。「骨付鳥一鶴」というお店を紹介いたします。香川県丸亀市発祥の骨付鳥専門店、現在は横浜、大阪、博多にも店舗を構えています。しっかりと歯応えのある親鳥と、柔らかくてジューシーな雛鳥の2種類があり、どちらも絶品です。一度ご賞味ください。

香川県の魅力は食べ物以外にもあります。香川県にある小さな島、小豆島をご存知でしょうか。2014年公開の映画「魔女の宅急便」の舞台となった「オリーブ公園」、干潮の時のみ出現する砂の道「エンジェルロード」があります。ほっきの貸し出しがあり、あたくも飛んでいるような映えた写真が撮れますよ。言葉だけでは伝えられないので画像を検索してみてください。実際は画像以上の絶景ですよ。

他にも魅力がたくさんありますが、骨付鳥一鶴と小豆島を知っていただけるとうれしいです。皆さんが健康で楽しい日々を過ごされることを祈っています。

保健福祉センター 便り

身体とこころの健康に気をつけてみませんか

【健康にい〜にゃん週間】 10月26日(水)~11月1日(火)

健康にい〜にゃん週間は、平成26年度から実施しており、町内の乳幼児から小・中学生、高校生をはじめとし、地域全体で日頃の生活習慣を見つめ直し、健康づくりに取り組むことを目的としています。

今回のテーマは【「運動」~身体活動を増やしましょう~】です。毎日少しずつ始められるものに挑戦してみましょう。「チャレンジカード」を使って生活習慣改善に向けて取り組むと、もれなくい〜にゃんポイントをプレゼントします。

【こころの健康相談日】 10月26日(水)

①13時30分~14時30分
②15時~16時
場所:保健福祉センター

病気のこと、日常生活で困っていることなど、話してみませんか。相談は秘密厳守で、臨床心理士がお話を聞きます。

こんにちは
中山間地域研究
センターです。

スギ大径材の利用拡大を目指して

●中山間地域研究センター ☎76-2025
<https://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>



島根県の森林資源は成長を重ね、多くの木が「伐って使う」時期を迎えています。特にスギ原木では、直径40センチメートルを超える大径材の割合が大きくなっています。

この大きく成長した大径材は、合板や木質バイオマス発電用の燃料として多く利用されていますが、より高価に取り引きされる、製材用としての利用割合が低くなっています。それは、これらの大径材を十分に活用するための加工技術が整っていないことが要因として挙げられます。

そのため、大径材の加工技術が確立すれば、県産木材を梁や桁などの建築用材として利用することが可能となります。

そこで、当センターでは大径材の利用拡大に向け、飯南町産をはじめとする、県内のスギ大径材を用いて、最適な乾燥方法や強度等の性能を把握するための各種試験を実施しています。

今後、スギ大径材の加工技術を確立し、地元産のスギ大径材が建築用材として利用されていくことを目指しています。

■問合せ 木材利用科 ☎76-3825



飯南町産スギ原木(大径木)の伐採



製材したスギ材の人工乾燥



スギ材の曲げ強度試験

まちを元気に！地域おこし協力隊

町内のさまざまな地域課題の解決に取り組む「地域おこし協力隊」の活動を紹介します。今月は、飯南高校魅力力化を担当する永瀬友真さんの活動報告です。



飯南町での生活も気付けば2年目となりました。任期も折り返し地点にきています。やりたいことは全部やるつもりで、残りの時間を過ごしたいと思います。

私の仕事は「飯南高校の魅力化」です。1学期は生徒募集が業務の中心でした。生徒募集をする際、意識していることは、中学生が「楽しそうな学校だ」と思ってくれるように話すことです。実際、飯南高校に通う生徒は本当に毎日楽しそうです。そうした生徒の雰囲気や伝えることが、大切だと思っています。

2学期以降は、校外に出て、地域資源を活用する授業が増えます。町内には、生徒の「考える力」を育む教材がたくさんあります。生徒にとって、よりよい学びの場となるよう、試行錯誤してまいります。

協力隊としての仕事以外では、サツマイモの栽培をしたり、高



野球部の指導者としても、生徒に信頼される存在に



1年生の授業で「生命地域学」の説明をしました

校野球部の指導をしたりしています。甲子園予選では、野球部が準優勝に輝きました。惜しくも甲子園出場は、お預けとなりましたが、最後まで諦めない戦いぶり、勇気をもらいました。私にとつて、高校球児は二度となることのできない、憧れの存在です。私も彼らのように、今を大切にしたいと思っています。

求人情報

直近1カ月に受け付けた求人をご紹介します。詳しい内容を知りたい方、このほかの求人情報をご覧になりたい方は、お問い合わせください。求人情報の閲覧のみも可能です。

飯南町無料職業紹介所 ☎76-2864 (役場まちづくり推進課内) ※表示のない市外局番は「0854」です

飯南町立飯南病院 72-0221
薬剤師 35歳以下、薬剤師 フル 1人

(有)いおり 73-0362
介護主任職員(庵)・(ブナの木) 各フル 1人
介護福祉士、普通自動車運転免許(AT限定不可)

(福)飯南町社会福祉協議会 76-2170
令和5年4月1日採用募集(応募期限:令和4年10月14日)
社会福祉士(地域福祉課) フル 1人

中国化成工業(株)本社工場 76-2258
検査員 59歳以下 フル 2人
倉庫業務(フォークリフト運転) 59歳以下 フル 1人

(福)友愛会 72-0214
介護職員 フル 3人
パート 3人
看護職員 フル 1人
看護職員又は准看護師、普通自動車運転免許

森のホテル もりのす 76-3119
清掃・ベッドメイク(~11月末) パート 2人
9:00~16:00 月・木・金・土・日でシフト

日本郵便(株) 来島郵便局・頓原郵便局 76-2300
郵便物集配業務 フル 2人
原付又は自動二輪又は普通自動車運転免許

松江石油(株) 0852-23-1881
販売・技術職 パート 1人

奥野産業(同) 76-2988
重機オペレーター・現場管理・手元作業 フル 2人
普通自動車運転免許(AT限定不可)

(株)佐藤組 西部営業所 0855-74-6190
電力会社の送・配電線や情報通信線の支障木の伐採作業 フル 2人
(邑智郡、大田市、出雲市、飯石郡地内)
使用期間3ヶ月、伐採に関する資格があれば尚可

(有)ジーンズマツダ 76-3716
縫製現場作業員 フル 2人
59歳以下

しまね医療情報 ネットワーク「まめネット」を知っていますか

「まめネット」は「まめネットカード」をお持ちの、県民の皆さんの医療や介護の情報を、県内の様々な機関で共有するネットワークです。病院・診療所間のカルテ情報の共有や、主に訪問系サービスを提供する事業所間での情報共有を行っています。



●このような人におすすめです
●複数の医療機関を受診されている人
●持病、アレルギーをお持ちの人
●小さなお子さん、高齢の人
●複数の薬の処方を受けている人
●在宅で訪問系サービスを受けている人

労働相談会

10月は「個別労働関係紛争処理制度周知月間」です。労働相談会を県東部と西部の2会場で開催。

「パワハラ」「突然の解雇」「残業代が支払われない」「勤務態度に問題のある社員に困っている」など、職場のトラブルでお困りではありませんか。一人で悩まず、まずは専門家に相談してみませんか。

労働者、事業主どちらの相談も受け付けます。

- 日時
●会場
●料金 無料
●申込 電話か「しまね電子申請サービス」
●期 限
●問合せ 島根県労働委員会

令和5年度「コミュニティ助成事業募集」

(二財)自治総合センターが宝くじの受託事業収入を財源として行う事業です。

申請事業の助成の可否は、(一財)自治総合センターが決定します。必ず採択されるものではありません。

- 募集事業
①一般コミュニティ助成事業(コミュニティ活動に必要な備品等)
②コミュニティセンター助成事業(集会施設の建設や大規模修繕等)
③地域防災組織育成助成事業(地域の防災活動に必要な設備等)
●募集締切 令和4年10月3日(月)
●問合せ・申請
①②の事業 まちづくり推進課
③の事業 総務課



子どもたちに家庭のぬくもりを 里親になりませんか

厚生労働省は、毎年10月を「里親月間」と位置付け、里親制度を推進しています。

さまざまな事情により、家族と一緒に生活することができない子どもたちがいます。こうした子どもたちを自分の家に迎え入れ、養育する人を「里親」といいます。里親には、長期の養育だけでなく、週末や長期休暇中の受け入れなど、短期のものもあります。

里親になるためには、特別な資格は必要ありません。子どもへの理解があり、愛情と熱意を持って養育していただける人を求めています。まずは気軽にお問合せください。

※現在島根県では、自分の家庭生活できない子どもたちが約1700人いて、そのうち約30人が里親の元で生活しています。県内の里親登録数は約1500世帯ですが、多くの子どもたちに家庭のぬくもりを届けるためには、決して十分とはいえません。また、里親の高齢化などの課題もあり、さらに多くの人の協力を必要としています。

問合せ 出雲地区里親会 ☎0853・21・0007

臓器移植普及・骨髄バンク推進月間

毎年10月は「臓器移植普及推進月間」と「骨髄バンク推進月間」です。臓器移植の一層の定着・推進のため、臓器移植の現状の周知や、移植医療に対する普及啓発、骨髄バンクへのドナー登録が推進されています。

合わせて、10月10日は「目の愛護デー」です。目の健康について考える日としましょう。
問合せ しまねまごころバンク ☎0853・22・2556

ハロウィンジャンボ宝くじ発売

- ハロウィンジャンボ宝くじ 5億円(1等3億円、前後賞各1億円)
●ハロウィンジャンボミニ 5千万円(1等3千万円、前後賞各1千万円)
●料金 各1枚300円
●発売期間 9月21日(水)~10月21日(金)

この宝くじの収益金は、市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など、地域住民の福祉向上のために使われます。お買い求めは、お近くの販売所で。

森林セラピー通信
森のたより
(一社)飯南町観光協会
☎76-9050

長野から、うれしい贈りもの

昨年、長野県から飯南町に視察でお越しになった信濃町森林療法研究会(ひとときの会)の皆さんから、現地では旬の「トウモロコシ」をいただきました。弾けんばかりに実が詰まったトウモロコシは糖度抜群。高原の味覚を堪能しました。

長野県信濃町の森林セラピー基地は、全国でまだ2つしかない「2つ星認定基地」。数年前に訪問した際には、野尻湖畔のコースを散策したり、「癒しの森の宿」でアロマ体験をして、身体に優しい食事を食べたりと、「森林メディカルトレーナー」が行程の全体を管理してくれました。



町全体で「癒しのおもてなし」をする姿勢にとっても感銘を受けました。この交流を通して、飯南町の森林セラピー基地も「2つ星基地」として切磋琢磨し、もっと多くの方に「森の癒し」をお届けできるように頑張りたいです。

森のお弁当

森林セラピーで提供する専用のお弁当「森のお弁当」が好評につき、このたび、一般販売されることになりました。加田の湯のごんべえ茶屋で作られている「森のお弁当」の目玉は「奥出雲和牛の炊き込みご飯」。奥出雲和牛の旨味を存分に引き出した炊き込みご飯は、喉通りもよく、飲みものだけでなく、パクパクと食べられちゃいます。また、季節ごとに工夫を凝らした総菜も絶品。山菜や煮しめ、きのこの天ぷらなど、季節を感じられます。秋の行楽シーズンには、「森のお弁当」を片手に、紅葉の森でピクニックをしてみたいかがでしょうか。



森のお弁当価格:1,100円(税込)
お茶付き+150円
※2個からご注文可(3日前までに要予約)
■問合せ:加田の湯 ☎76-3357

文化を感じるまちへ 飯南町文化協会

事務局(教育委員会内) ☎76・3944

こんにちは。ダルマーズです。僕たちは飯南町出身の藤原誠太さんと、大阪出身で飯南町在住の林正知の二人でライブ活動をしています。藤原は歌とウクレレを主に担当しています。小さい頃から歌が好きで、小学校の頃から人前のさまざまな場所で歌っていました。ウクレレは2年前に始めたばかりですが、頓原公民館でウクレレ教室の講師をしています。

次に林ですが、ピアノを担当しています。こちらも小さい頃からピアノに慣れ親しんでおり、県内外問わずキーボードを担いで、演奏行脚をしています。コンビを結成して3年になりましたが、町内のイベントやサロンなどで演奏させていただいています。コロナ禍で活動もままならない状況でしたが、少しずつ演奏の機会が増え、喜んでいきます。皆さんの前で演奏できる幸せを噛みしめ、これからも精一杯活動を行いたいと思います。出前ライブ演奏



世代を問わず多くの皆さんに音楽を届けます

■問合せ 頓原公民館
☎72・0980

短歌

赤名短歌会 八月例会詠草

エプロンにそととトマトを包んだ母と散歩した日の笑顔浮かびて 星野 敦子
丹精のみ寺の庭に咲き匂う花づくし届く雨のホーンに 石田フクエ
悪童の吾をいつくしみかばいたる君はこの世の菩薩なりしか 清原 豊明
とろとろと眠りおぼろにまた眠る午睡の耳に夏漂へり 烏田 勝信
人生をかけて取り組む核廃絶あきらめぬ青年らを知らされし夏 門所 詠子
「きらり号」はオーナーの遺志級友の在宅シヨップに互に感謝 澤田 勝登
夏空に悠然と浮かぶ雲にのり行つてみたいなあ未知なる世界 吉川 暎子
何となく目札をもて行きあえば鬼ヤンマつと向きを変えたり 澤田久美子
目まぐるしく移りゆく世に老いし身は時代の流れについてはゆけず 本間 麗子

俳句

琴峯俳句会 八月の作品から

一汁に土用蛸の沈まりて 安部 豊枝
庭下駄のはきゆるみより今朝の秋 石田シヅカ
秋暑し電話のベルのけたたまし 佐々木康子
誰に言うでもなき小言残暑なほ 田部智津子
もろこしを抱へきれざる子の笑顔 土池 博子
すぢ雲は峯から峯へ今朝の秋 朽木 豊子
手の甲に透ける血管秋暑し 松平富美子
審判の右手の拳夏終わる 山崎智恵美
朝涼や棚田見下す家に住み 八嶋 昭男

すこやかに

8月届出分

新生児 朝津 優例(71) 直 哉(赤名)
大塚菜々美(84) 雄 嗣(真木)
重栖 香帆(97) 慎 典(頓原)

やすらやかに

8月届出分

お名前 朝日百穂子(71) 親族 夫(上区)
原田 房数(84) 明 子(真木)
源 光子(97) 彰 弘(赤名)

今日の人権標語

「家族でつくる人権標語」
優秀作品から

人の和は、
コロナに負けない
強いもの

赤名小6年 安田紗奈さん
家族名 安田 隆志さん

標語に込められた想いをみんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

今日の表紙

三日市で開催した「ブランドメツセージフェスティバル」。ずらりと並んだテント市と多くの来場者で賑わいました。

オープニングイベントでは、飯南高校書道同好会によるパフォーマンスで決定したブランドメッセージをお披露目。

表紙の余白部分にはロゴを掲載。使用した形や色は次のことを表現しています。

三角の緑色…豊かな山
丸のピンク色…温かい人
四角の水色…澄んだ川
皆さんのアイデア次第で自由な形を変える「余白あります。」
(8ページに関連記事)

2022
10

まちのスケジュール

📖教育 + 健康・保健 *文化・体育 ◆その他

1 土	
2 日	◆ 飯山街道ウォーキング ◆ フラワーマーケット(来島交流センター) ◆ 秋季神楽共演大会(谷体育館)
3 月	📖 小学校宿泊研修(~5日)
4 火	
5 水	+ ほっと。Café(ペピーマッサージ) (来島保健センター)
6 木	+ 乳児健診(保健福祉センター) 📖 雲南市飯南町中学校新人体育大会(~7日、予備日8日)
7 金	
8 土	
9 日	◆ 第30回コスモス祭(東三瓶フラワバレー)
10 月	スポーツの日
11 火	
12 水	+ ほっと。Café(食講座[離乳食])(来島保健センター) 📖 授業公開日(頓原小、来島小)
13 木	+ 乳がん検診(保健福祉センター)
14 金	
15 土	
16 日	◆ 頓原公民館まつり(交流センターとんぼら) * ストーリーテリング(中央図書館)
17 月	+ 乳がん検診(保健福祉センター)
18 火	📖 授業公開日(志々小) 📖 授業公開日・PTA研修会(赤名小)
19 水	+ ほっと。Café(食講座[離乳食]) (来島保健センター)
20 木	* 第14回ふれあいグラウンドゴルフ大会(頓原町民野球場) 📖 小学校修学旅行(~21日)
21 金	
22 土	
23 日	
24 月	
25 火	
26 水	+ ころの健康相談日(臨床心理士)(保健福祉センター) + ほっと。Café(来島保健センター) + 健康にい~にゃん週間(~11月1日)
27 木	* 高田勲さん原画展<~11月30日>(中央図書館)
28 金	◆ はびこ無料結婚相談会(役場本庁舎)※予約制
29 土	📖 赤来中カルチャーフェスタ
30 日	* 好きな本の魅力を語ろう(中央図書館) * フラワーキャンドルを作ろう(中央図書館)
31 月	◆ 町県民税納期限 ◆ 国民健康保険料納期限 ◆ 後期高齢者医療保険料納期限



会社の上司であり、山口での交友関係を広げるきっかけくれた、藤長義見さん(写真左)と旅行を楽しむ八幡さん。一人暮らしのサポートもしてくれた藤長さんを頼りにしているそう。「将来的には、自分も周りに頼られる人になりたいですね」と話していました

日本製紙(株)岩国工場専属の協力会社として、原材料や各種生産品の工場内運搬、貨車・船舶の荷役、倉庫入出荷などを行う岩国産業運輸(株)。事務職員として、荷役スケジュールの調整などに携わるのが八幡輝さん(20歳)です。

「ルーツいいなん 14」
このまちに住んでいようと、なかりうと、ルーツをたどれば飯南町。生まれや育ちは違っても、飯南町に縁やゆかりがある。そんな人たちを紹介いたします。今回登場した人が次の人を指名。つながり続くよごまで。

いつかはふるさとに

業までの18年間を飯南町で過ごしました。仲の良い友人たちと、大好きな野球やハンドボールに取り組みなど、充実した毎日。しかし、「このままでいいのか」と、物足りなさを感じていたと言います。

それでも、飯南町を離れ、県外で働くことは考えていなかった八幡さん。高校3年生となり、真剣に進路を考え始めた際、家族や先生と話し合う中で、「地元を一度離れてみよう」という気持ちが芽生え、県外で就職することを決めました。

社会人としてのスタートは、同時に一人暮らしのスタート。「最初はく



や はた ひかる
八幡 輝
飯南町上赤名出身。飯南高校卒業後、山口県岩国市の岩国産業運輸(株)に就職し、社会人として3年目。プライベートでは、ハンドボールの社会人チーム「岩国クラブ」にも所属し、活動中

じけそうになっただけで、年に何度かの帰省を楽しみに頑張れた」と八幡さん。「飯南町は雪や雨は多いけど、過ごしやすい。家族だけでなく、地域の人たちが温かくて、安心感があるんです」と続けます。

飯南町を離れて2年半。最近の仕事や生活も落ち着き、将来を考えることも増えてきました。「先月の『二十歳のつどい』に出席した時にも思いましたが、ふるさとである飯南町に戻ってきたい。将来、飯南町で充実した楽しい生活をするために、今は、公私とも自分を磨く時間だと思っています」と笑顔で話していました。

ごみ収集日	金属類・灰類 くつ類・プラスチック類	陶器・ガラス類 くつ類・プラスチック類	資源物
収集地区	収集日	収集日	収集日
頓原	頓原連坦地	24日(月)	11日(火)
	八神連坦地	26日(水)	13日(木)
	連坦地以外	25日(火)	12日(水)
赤来	赤名連坦地	17日(月)	3日(月)
	来島連坦地	19日(水)	5日(水)
	連坦地以外	18日(火)	4日(火)
			19日(水)
			26日(水)

【いいしクリーンセンター】 ☎72-9217
【クリーン(株)】 ☎72-1401(頓原地域)
【クリーン(株)】 ☎76-2441(赤来地域)

し尿汲取り日	汲取り地区	汲取り日
頓原・志々	頓原	6日(木) 7日(金)
	志々	20日(木) 25日(火)
赤名	赤名	20日(木) 25日(火)
	来島	13日(木) 15日(土)

決められた日時を必ずお守りください。

町の人口 4,609人(前月比-6人) 男性2,182人 女性2,427人 世帯数2,037戸 R4.9.1 現在

スマホで
広報誌を
読んでみ
ませんか